

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

石油の値上がり及ぼす経済的影響 塚屋 太一（作家、元経済企画庁長官）

1. 石油の値上がりでまず減少するのは、「最もぜいたくな需要」、つまり先行投資です。だから、石油が値上がりすると土地が暴落し、住宅価格も下がります。日本でも昨年から地価が下落、不動産投資信託（REIT）は半値ぐらいに下がりました。アメリカではサブプライムが次々と破綻することになった。つまり、石油の（僅かな）値上がりが、ペーパーマネーの流れを通じて、価格と景気の変動を拡大したわけです。
2. 石油価格は今、一バーレル 140 ドル台、実質価格でも戦後最高です。それにつられて石炭や鉄鉱石などの資源、小麦やとうもろこしなどの食糧も値上がりしています。次に来るのは食糧不足です。石油が高騰すると石油から造る化学肥料が値上がりし、貧しい途上国の農民は十分な肥料が買えなくなります。当然生産量は減り、食糧不足になるわけです。食糧が不足して値上がりすると、「食糧の最も貧しい消費者」が食べられなくなります。「食糧の最も貧しい消費者」とは、家畜のことです。だから肉の値が上がります。
3. そうすると、牛肉を食べていた人が豚肉や鶏肉に代わります。牛は食べた飼料の約 8%しか肉にならないが、豚は 15%以上、鶏肉は 25%程度が肉になるのです。だから、牛肉から豚肉や鶏肉に代わるだけで飼料需要は大幅に減ります。そのうえ、石油を買えない貧しい人々が燃料として森林を伐採するので、自然破壊も進みます。石油危機のあとでは、そうした難しい状況が生じるものです。

(参考：「中央公論」2008 年 8 月号)

ワンポイント経営アドバイス

経営には見直しが必要（P. F. ドラッカー）

1. マネジメントの値打ちは、医療と同じように、科学性によってではなく患者の回復によって判断しなければならない。マネジメントとは、変化する世の中であって、大勢の人間が共通の使命の下に成果を上げるための方法である。確かに、サイエンスの部分はある。しかし、決め手は成果であり、うまくいかいかである。人を生き生きと働かせ、世のため人のために、優れた財・サービスを、豊富かつ安価に提供し続けられるかである。
2. いかに立派なビジネスモデルを構築し、高度の数式モデルを駆使し、豊富なデータを収集しようとも、経営の役に立たなければ無益である。また、経営というものは、人の手になるものであるがゆえに、唯一絶対たることはありえない。常に見直しが必要である。

(参考：「週刊ダイヤモンド」：2008 年 4 月 12 日号)

人事・労務について

人生に口ずさむ言葉を持つ

1. 詩人の故坂村真民先生のお母さんは、36 歳で 42 歳のご主人に先立たれた。手元には 5 人の幼子が残された。大正 6 年のことである。想像を絶する貧しさだった。にもかかわらず、真民先生のお母さんは苦労を苦労とせず、5 人の子どもを女手ひとつで育て上げた。辛くなかったはずはない。苦しくなかったはずはない。だが、辛い、苦しいと嘆きたくする時に、愚痴を言う代わりに、自分を潤し、力づける言葉を、真民先生のお母さんは持っていた。「念ずれば花ひらく」である。いつもこの言葉を口癖のように唱えていたという。
2. 人生に口ずさむ言葉を持つと、真民先生はよく言われた。人間はそれほど強いものではない。苦しいこと、悲しいことに胸をふさがれる日もある。気力が萎える時もある。そういう時、どういう言葉を口ずさんでいるかそれが運命を左右することもある。

(参考：「致知」2008 年 8 月号)

古典に学ぶ

静と動

「静を積して不動となすは訓誥なり。静何ぞかつて動かざらん。動を積して不静となすは、訓誥なり。動何ぞかつて静ならざらん」

(訳) 静を不動とするのは文字にこだわった解釈で、静は決して動かないということではない。また、動は静ならずと解釈するのも文句にこだわってのことで、動は静かでないという意味ではない。

(参考：佐藤一斎「言志四録」：PHP 文庫)

